

国、県、市及び関係機関が参加して、洪水発生時の防災体制を確認することを目的とした洪水対応演習を行います。演習の一環として、以下の日時と場所でダム警報局から警報音(アナウンス及びサイレン)を数回鳴らしますので、ご理解とご協力をお願いします。

演習日時

日にち：令和7年5月9日(金)

時 間：栃尾地区 9:00~10:30

見附・中之島地区 12:00~13:30

アナウンス(演習時)

『こちらは刈谷田川ダムです。ただいま、ダムでは演習を行っています。これからサイレンを鳴らしますが、これは演習ですので、お間違えないようお願いします。』

サイレン(演習時)

『ウー(60秒) 休み(10秒) ウー(60秒) 休み(40秒)』を3回繰り返します。

- (注意) ・ 実際の洪水ではありませんので、ご注意ください。
 ・ 当日の降雨状況等により、演習を中止することがあります。

ダム警報局とは？

ダム警報局

刈谷田川ダム管理所では、刈谷田川沿いに左の写真のようなサイレン・スピーカーを設置しています。ダム警報局といい、ダムからの放流による増水に伴う危険性が増していることを、河川利用者及び周辺にお住まいの方々にお知らせする設備です。ダムからの放流により、急激な(30分で30cm以上)刈谷田川の水位上昇が見込まれる場合に、サイレンと音声による警報を吹鳴します。ダム警報局の警報が鳴ったら、直ちに刈谷田川から離れて、安全な場所へ移動してください。

スピーカー

①こちらは刈谷田川ダムです。ただいま、上流のダムから放流しています。今後、さらに川の水が増えますので、ただちに川から離れてください。

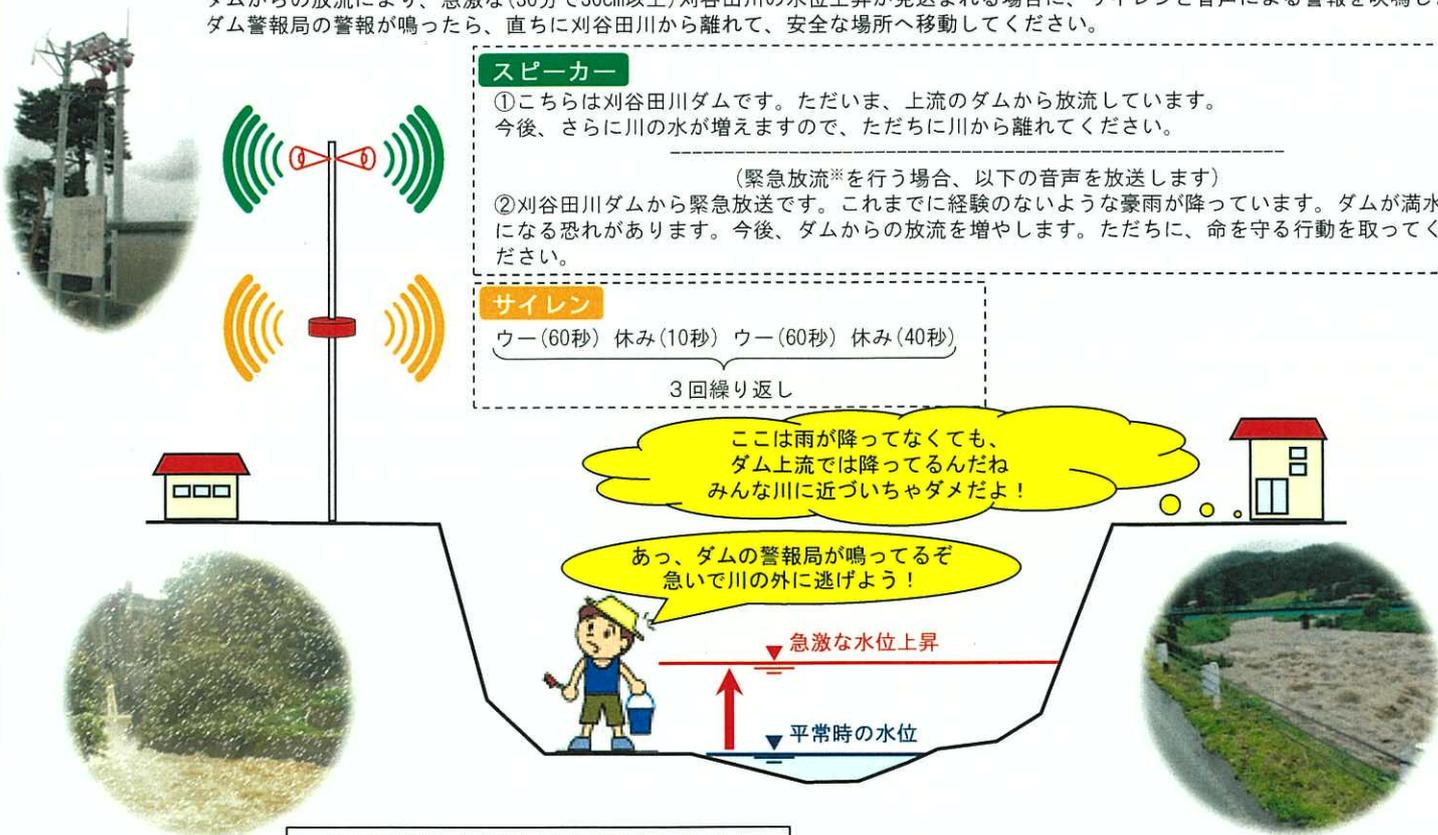
(緊急放流※を行う場合、以下の音声を送ります)

②刈谷田川ダムから緊急放送です。これまでに経験のないような豪雨が降っています。ダムが満水になる恐れがあります。今後、ダムからの放流を増やします。ただちに、命を守る行動を取ってください。

サイレン

ウー(60秒) 休み(10秒) ウー(60秒) 休み(40秒)

3回繰り返す



※ 緊急放流(異常洪水時防災操作)について

緊急放流とは、「計画を超える規模の出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、放流量を徐々に増加させ、流入量と同程度を放流する操作」をいいます。

通常の防災操作(洪水調節)では、流入する洪水の一部をダムに貯め込み、下流河川に安全な水量のみをダムから放流します。

刈谷田川ダムの洪水調節容量は、観測史上最大の流入量となった7.13水害(平成16年)時の洪水を貯めることができます。しかし、これまでに経験のない異常洪水が継続し、7.13水害時を超える洪水が流入した場合、ダムに水を貯めることができなくなり、ダムに水を貯め込まずに、流れ込む水を通して操作を行います。

異常洪水時防災操作のイメージ

